

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 27日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市中央区大通西4丁目6-8 住友成泉札幌大通ビル3階

氏 名 住友不動産株式会社

新築そっくりさん事業本部 北日本事業所 北海道エリア

エリア統括 笹倉 響

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

(011)281-3949

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 北日本事業所 北海道エリア
事業場の所在地	札幌市中央区大通西4丁目6-8 住友成泉札幌大通ビル3階
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	280,025万円
③ 従業員数	56人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・すべての産業廃棄物を業者に委託 ・処理工程 廃棄物発生 → 収集運搬業者 → 産業廃棄物処理 → 最終処分処理場 ※一部、原材料として再資源化

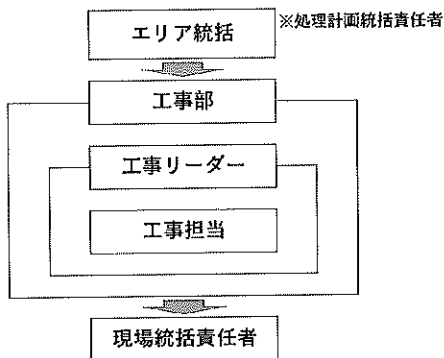
(日本工業規格 A列4番)

4.6.27



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
	・ 建材は工場で加工し、現場で発生する廃棄物量を抑える。 ・ 梱包・包装をより簡素化出来るよう、業者・取引先と協議。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	
	・ 土台や柱など活かせるものは活かし、また、歩留り良く発注することで廃棄物の減量を図る。	

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック、金属くず、木くず、がれき類、紙くず、繊維くず、ガラス陶磁器くず、石膏ボードくずは分別する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発生した廃棄物の再生率を向上させるため、混合廃棄物とならないように更なる分別を徹底していく。 特に、木材・石膏ボードについては確実に実施・実行する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

別紙のとおり

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請け完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによる減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前年度の廃棄物発生量(実績)及び今年度の廃棄物発生量(計画)目標

(前年度: 令和3年度)
(今年度: 令和4年度)

様式第二号の八 別紙

名 称 産業廃棄物の種類 (実績/計画)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利 用した量	自ら直接埋立処 分又は海洋投入 した量	自ら中間処理し た量	④のうち総回収 を行った量	自ら中間処理し た後の残量	自ら中間処理に より減量した量	自ら中間処理し た後再生利用し た量	自ら中間処理し た後又は海洋投入 処分した量	直接及び自ら中 間処理した後の 処理委託量	⑩のうち優良認 定処理業者への 処理委託量	⑩のうち再生利 用業者への処理 委託量	⑩のうち総回収 業者への処理 委託量	⑩のうち総回収 業者以外の処 理委託業者 への処理委託 量
1. 廃プラスチック類	前年度 579,968									579,968				579,968
2. 紙くず	前年度 126,600									126,600	126,600			579,000
3. 建設工事の紙くず	前年度 7,620									7,620	7,620			126,000
4. ダンボール	前年度 3,600									3,600	3,600			7,000
5. 木くず	前年度 1239,178									3,000	3,000			3,000
6. 建設工事の木くず	前年度 1239,000									1239,178	1239,178			1239,178
7. 繊維くず (天然繊維くず)	前年度 59,180									1239,000	59,180			1239,000
8. 建設工事の繊維くず	前年度 59,000									59,000	59,000			59,180
9. 金属くず	前年度 8,800									8,800	8,800			8,800
10. カラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	前年度 8,000									8,000	8,000			8,800
11. グラスウール	前年度 0,180									0,180	0,180			8,000
12. 陶磁器くず	前年度 0,100									0,100	0,100			0,180
13. コンクリートくず	前年度 769,304									769,304	769,304			0,100
14. 石膏ボード	前年度 769,000									769,000	769,000			769,304
15. かねぎ類(工作物の新 製、改修及び除去に伴っ て生じた不要物)	前年度 616,200									616,200	616,200			769,000
16. コンクリートくず破片	前年度 616,000									616,000	616,000			616,200
17. 安型建設用合廃 棄物	前年度 4,080									4,080	4,080			616,000
18. 管理型建設用合廃 棄物	前年度 4,000									4,000	4,000			4,080
19. カラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	前年度 28,500									28,500	28,500			4,000
20. 廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)	前年度 28,000									28,000	28,000			28,500
21. がいき類 (石綿含有産業廃棄物)	前年度 307,500									307,500	307,500			28,000
22. 合計	前年度 4,290									4,290	4,290			307,500
	今年度 4,000									4,000	4,000			307,500
	前年度 65,290									65,290	65,290			242,836
	今年度 65,000									65,000	65,000			242,836
	前年度 2,110									2,110	2,110			242,000
	今年度 2,000									2,000	2,000			82,463
	前年度 114,190									114,190	114,190			82,000
	今年度 114,000									114,000	114,000			82,000
	前年度 4264,927	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	4264,927	1470,497	137,820	0,000	2656,610
	今年度 4256,170	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	4256,170	1466,070	136,000	0,000	2654,100